Dockerとコンテナ超入門

免責事項

• 初心者向けの内容

- わかりやすさ重視
- 内容が一部不正確な可能性あり
- (マサカリ投げないで…)

おしながき

- Docker概要
- 仮想化振り返り
- コンテナとその技術的側面
- Docker実践
- Docker Compose

Docker is 何?

• Docker, Inc. (dotCloud, Inc.) が開発・提供するコンテナ型仮想化のプラットフォーム

インフラ、ソフトウェア開発などで(今では当たり前に)利用 されている

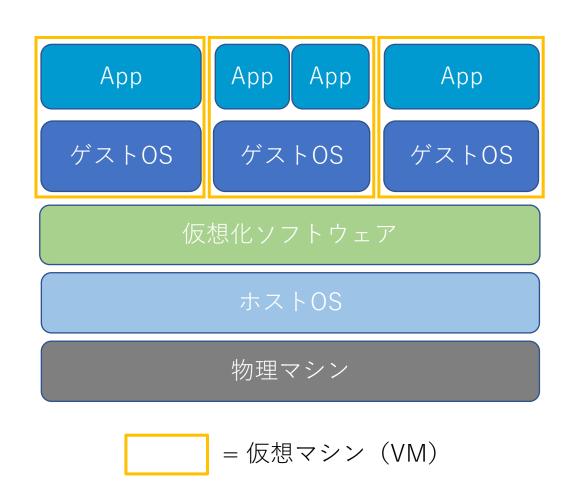
仮想化とは?

・ホスト型仮想化

ハイパーバイザー型仮想化

・コンテナ型仮想化

ホスト型仮想化



- 仮想化ソフトウェアを入れるだけで動作
- ホストOSを動作させる分のリソースが必要
- VMの動作においてオー バーヘッド大
- VMware Workstation, Oracle VM VirtualBox, etc..

ハイパーバイザー型仮想化

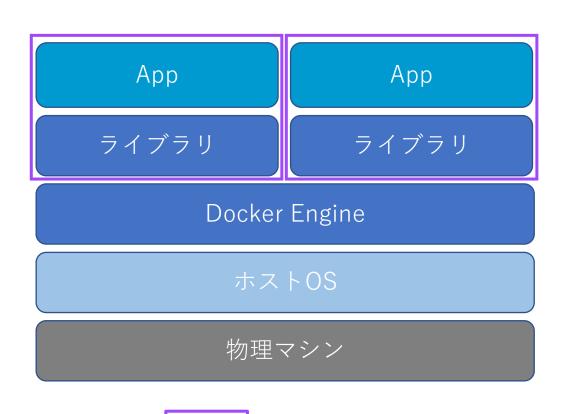


仮想マシン (VM)

- ハードウェアを直接制御
- ホスト型より高速

VMware ESXi, KVM, Xen, etc..

コンテナ型仮想化 (Docker)



= コンテナ

- ホストOSとコンテナは カーネルを共有
- オーバーヘッドは他二つ より小さい
- 起動速い

• Docker, Kubernetes, etc...

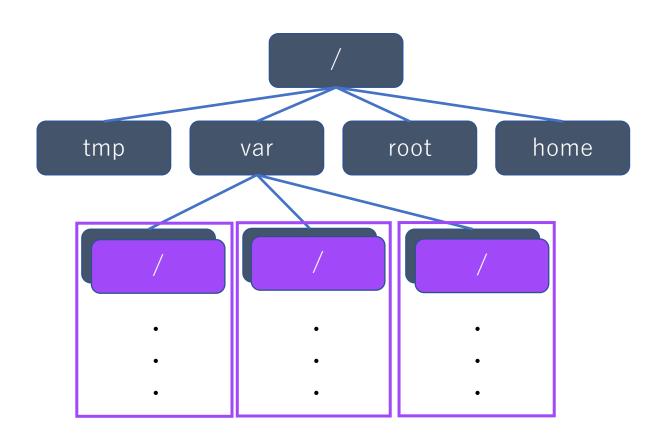
コンテナとその技術的側面

コンテナはホストOS上の<u>隔離された領域</u>

Linuxカーネルの機能を利用してうまい具合に作られている

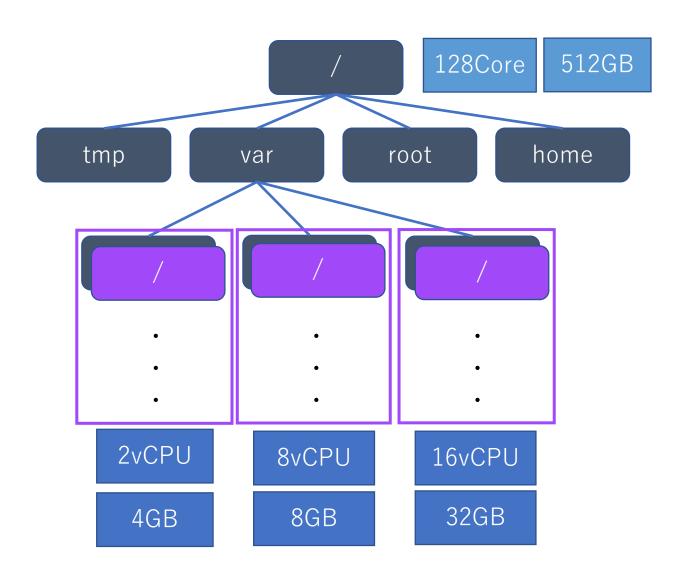
- chroot / pivot_root
- cgroups (control groups)
- namespace

chroot / pivot_root



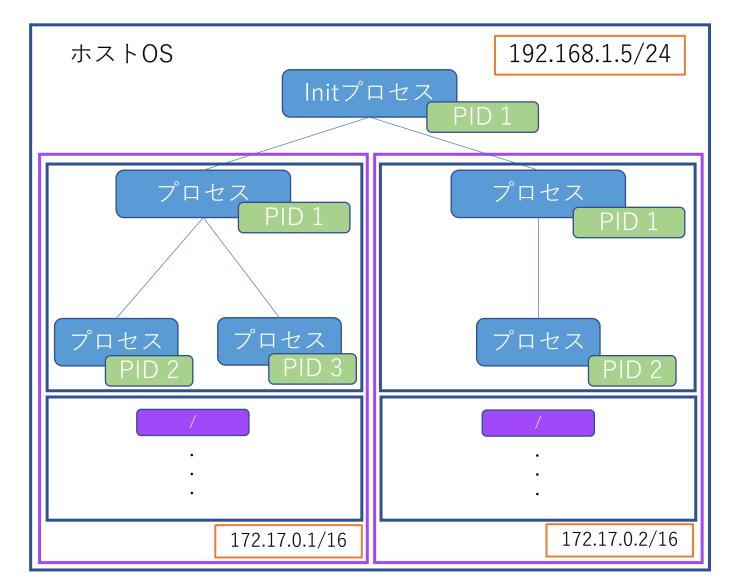
- 特定のディレクトリを ルートディレクトリとし て見立てて隔離する技術 (chroot監獄)
- プロセスを特定のディレクトリに隔離したり、プロセスのマウントポイントを入れ替えたり...

cgroups (control groups)



プロセスグループで CPU, RAM, Disk I/Oを 隔離・制限する機能

namespace



プロセスとネット ワークの名前空間を 提供

= namespace

Dockerの利点

- 起動速いホストOSとカーネルを共有するため実行速い
- ・コードで内容を定義
 - →可搬性高い, 環境の再現が容易, 共有も簡単 Create & Destroy!!

Infrastructure as Code (IaC) や ソフトウェア開発 に使うと楽しい&楽

例えば...

• Pythonで何か動かしたい...

ホストPCにPythonの実行環境をインストール

手元のPCでは動くのに本番環境では なぜか動かん

Pythonのバージョンは? パッケージは?

例えば...

>>環境構築つらい!!<<

入11

于兀のPUでは勁くのに平面環現ではなせか動かん

Pythonのバージョンは? パッケージは?

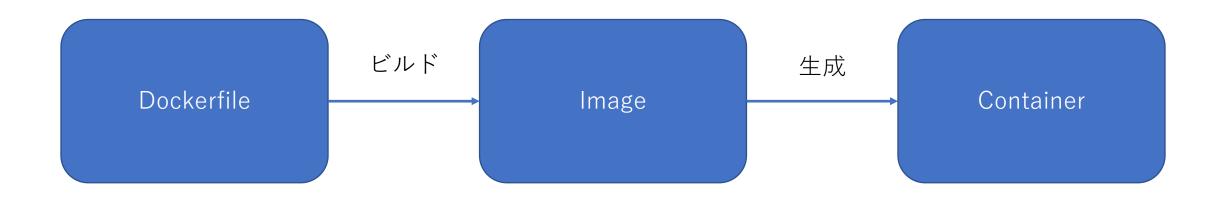
Docker使おう!

用意するもの

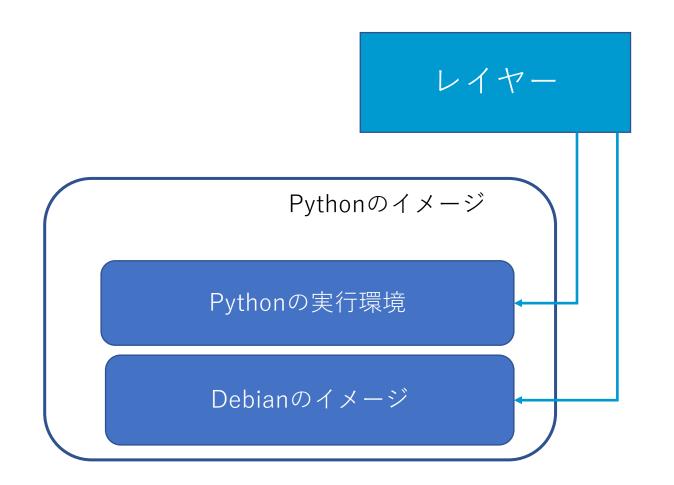
- Docker Desktop
 - →手順に従ってインストールする

- 教材
 - → https://github.com/quadseed/Docker-Tutorial

Dockerfileとイメージ、そしてコンテナ



イメージ



Docker Hubから拾ってくる or Dockerfile 書いて自作

• Docker Hubでイメー ジを共有できる

Dockerfileの書き方の例

イメージのTagの名前

```
FROM python:3.9.6-slim-buster
RUN apt-get update
RUN apt-get -y install locales && \
    localedef -f UTF-8 -i ja JP ja JP.UTF-8
ENV LANG ja JP.UTF-8
ENV LANGUAGE ja JP:ja
ENV LC ALL ja JP.UTF-8
COPY requirements.txt .
RUN pip install --upgrade pip
RUN pip install -r requirements.txt
```

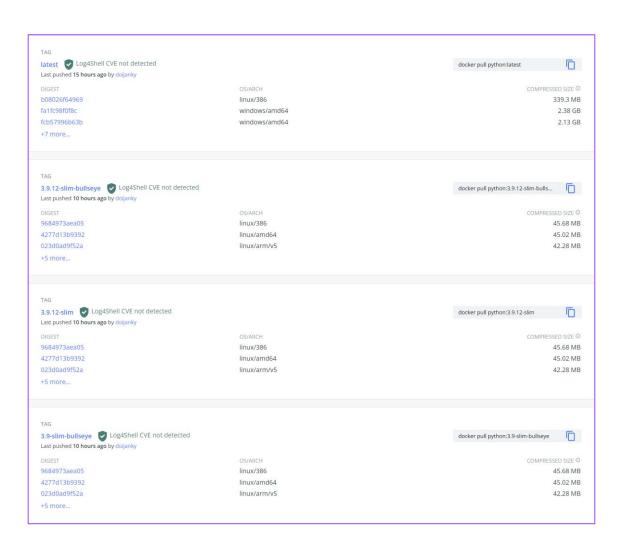
• FROM: ベースにするイ メージ

• RUN: 実行するコマンド

• ENV: 環境変数

• COPY: ディレクトリ内のファイルをイメージ内にコピー

イメージの選び方



- latest: その時々の最新
- slim: 一部コンポーネント削減版
- bullseye: Debian v11ベース
- alpine: 軽量Linuxベース

パッケージのバージョンを固定するためにバージョン指定を推奨 (不具合防止&冪等性確保)

イメージをビルド

➤docker image build -t イメージ名[:tag名] Dockerfileのパス

Ex) docker image build -t [アカウント名/]test-image:0.1.

Docker hubに公開する場合はDocker Hubに登録したアカウント 名が必須

公開しない場合はイメージ名単体でOK

データの永続化

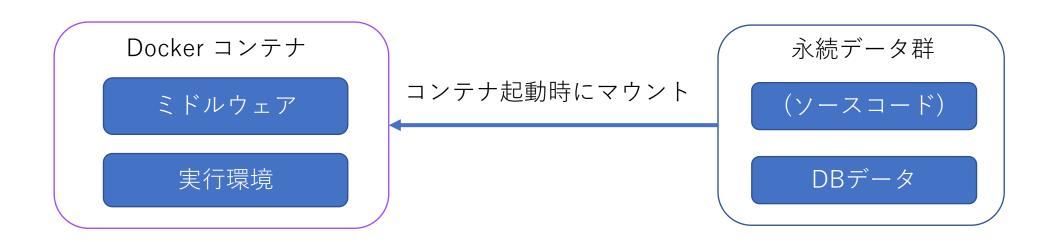
COPY でソースファイルをイメージに埋め込み

→ソースコード変更した場合、<u>イメージ再生成&コンテナ再構築</u> が必要

 \downarrow

ソースコードはコンテナにVolumeとしてマウントする(イメージ にはライブラリ周りだけ用意)

データの永続化



コマンドあれこれ

- docker container run <イメージ名>
 - →コンテナ作成&起動
 - →イメージのタグを指定した場合はtagも必須
 - → docker container create + docker container start
- docker container start <コンテナ名 or コンテナID> →既存コンテナの起動
- docker container stop <コンテナ名 or コンテナID>→稼働中のコンテナの停止
- docker ps
 - →起動中のコンテナ一覧
- docker image Is
 - →ローカルにあるイメージ一覧

引数あれこれ (docker container run)

```
● ● ● 1 -p ホストのポート:コンテナのポート 2 3 -v ホストのディレクトリ:コンテナのディレクトリ
```

```
-p ポートのバインド
-v ボリュームのマウント
```

```
-it コンテナ起動時に標準入出力と接続
-it = --interactive (-i) + --tty (-t)
```

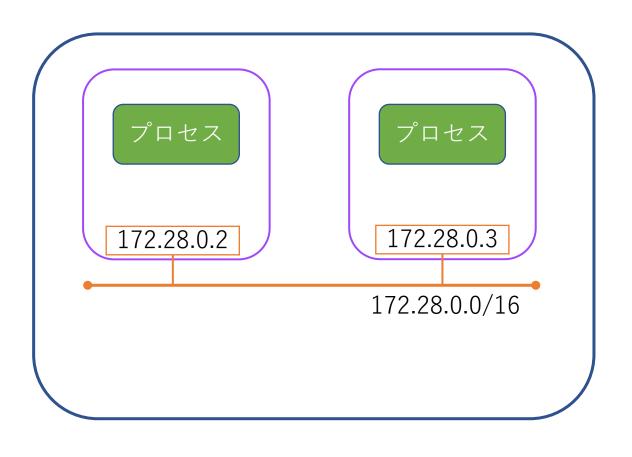
-d バックグラウンドで起動

稼働中のコンテナへの接続

- docker attach <コンテナ名 or コンテナID>
 - → コンテナでシェルが動作している場合のみ
 - →exitコマンドで抜けるとシェルが停止してコンテナも止まる
- docker exec <コンテナ名 or コンテナID> /bin/bash
 - →新たにシェルを起動する

Docker & Docker Compose

Docker Composeとは?



複数のコンテナを協調させることが可能

コンテナの立ち上げ順序や環境 変数、ポート設定やボリューム、 コンテナネットワークの全てを yamlで定義できる

docker-compose.yml

```
image: mysql:5.7
        - ./db/mysql:/var/lib/mysql
       restart: always
         MYSQL_DATABASE: database01
         MYSOL USER: user
         MYSQL_PASSWORD: password
        image: phpmyadmin/phpmyadmin:latest
       restart: always
        - 8001:80
        depends on:
        image: wordpress:latest
        - ./wordpress/html:/var/www/html
        - ./php/php.ini:/usr/local/etc/php/conf.d/php.ini
        - 8080:80
         WORDPRESS DB HOST: database:3306
          WORDPRESS DB NAME: database01
          WORDPRESS_DB_USER: user
          WORDPRESS DB PASSWORD: password

    database
```

- 各コンテナの設定をyaml 形式で定義
- コンテナネットワークに ついても設定可能
- versionによって一部構文 に差異がある

演習コマンドまとめ

- docker image build -t python1 ./section1
- docker container run -it python1
- docker image build -t python2 ./section2
- docker container run -it python2
- docker image build -t python3 ./section3
- docker container run -v c:/Docker-Tutorial-main/section3/src:/project/src -it python3
- docker pull httpd
- docker container run -v c:/Docker-Tutorial-main/section4:/usr/local/apache2/htdocs -p 8080:80 -d httpd
- docker ps
- docker compose up -d